

Mylcを使った各種評価を、どこでも手軽に。

評価用キット

<研究用>

Mylc ELISA (human IL-6) Kit Version 2.0

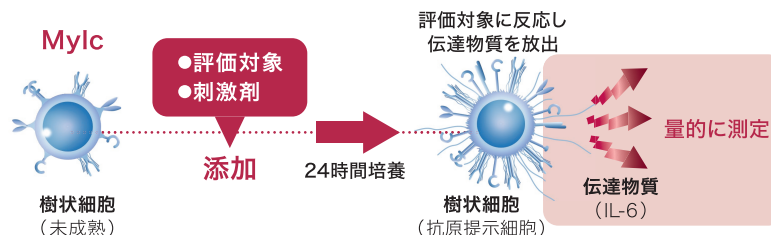
被験物質のヒトミエロイド系細胞(Mylc細胞)に対する炎症性サイトカイン産生をキット開封後、わずか1日で評価できます。

評価原理

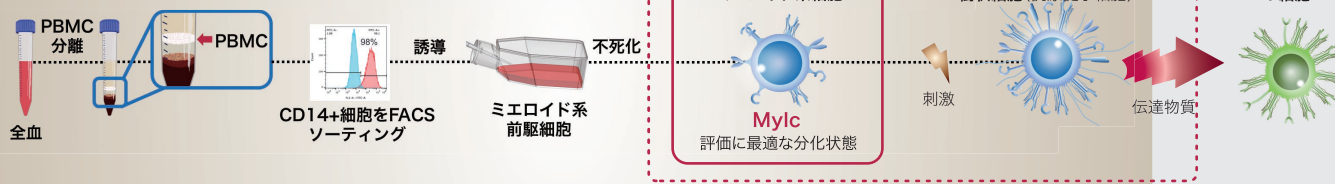
被験物質を添加した際に、Mylc細胞の表面にあるトール様受容体(TLR)などに作用し、産生される炎症性サイトカイン(IL-6)を測定します。

既存の細胞より低濃度から評価可能であることや、キット開封後1日で結果が得られることなどが特徴です。

Mylc(未成熟・樹状細胞)に評価対象を添加すると、IL-6などさまざまな物質を産生します。



樹状細胞の分化・成熟化



評価の手順



Mylc細胞解凍

ウォーターバスにバイアルを
浸し細胞を解凍します。

Mylc細胞調整

遠心分離洗浄後、専用培養液
に細胞を懸濁させます。

細胞播種

お手持ちの96well plateに
一定数細胞を播種します。

評価物質添加

評価対象とコントロール物質
を添加し24時間培養します。

培養上清を回収

各wellの培養上清を取り、
キットの96wellに移します。

培養上清中IL-6の測定

ELISAキット添付の方法で
呈色反応を測定します。

Mono-Mac-6との比較実験

aMylcとMono-Mac-6に6種類の発熱物質の希釈系列を作り添加し、IL-6の産生量を比較しました。
各発熱物質の濃度に対する刺激への応答性をグラフにしています。
下記グラフにある*は最高濃度でも刺激への応答がなかったことを意味します。

